

(様式)

情報学委員会国際サイエンスデータ分科会 CODATA 小委員会の設置について

分科会等名：情報学委員会国際サイエンスデータ分科会 CODATA 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	情報学委員会
2	委員の構成	25 名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	1966 年に ICSU によって設立された CODATA (Committee on Data for Science and Technology) は国際的なデータ活動において中心的な役割を果たしてきた。初期の活動は物理常数に代表される基礎的な科学データの評価と整備が中心であったが、近年は気候変動、生物多様性、オープンアクセス等々のグローバルな課題についてのデータ活動へと対象を拡大し、データを通じた科学技術と社会との緊密な関係の構築に向けた活動を展開し、2003 年及び 2005 年には CODATA/ICSU を通して国連情報社会サミットにおいて提言を行っている。 3.11 を契機に、エネルギー、経済、環境、災害、健康等々に関する深刻な課題が顕在化し、世界の人々が信頼できる科学技術データをこれまで以上に真剣に求める時代になってきた。日本が主体的に動き、これまでの学術活動の成果をデータとして国際社会に提供するための諸課題を検討し、国際的な活動を先導することが期待されている。小委員会では、そのためのガイドライン、可能ならば具体的なアクションプランの検討を実施する。
4	審議事項	1. CODATA/ICSU への対応 2. 国内 CODATA 関連データ活動の連携と活性化 3. WDS, IRDR 等の ICSU 組織との連携
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 ○常設
6	備考	※新規設置